

院長の自由帳

菅田 宗樹

夏本番ですが、昨年の災害から1年が経過します。備えあれば患いなしです！備えの中に人付き合いも加えましょう！

さてこれまでに何度か地域医療構想という言葉が挙げてきましたが、皆さんはどれくらい知っていますか？私も熟知しているとは言えませんが、無責任ながら周知のため私見を述べさせていただきます。

皆さんは（超）急性期、回復期、慢性期という言葉をご存じですか？これらは病棟（入院）の種類です。入院期間が3週間とか2か月とか、特に制限がないとかいろいろあるのもこの種類によるものです。

全国的にこれから超高齢社会を迎える日本では急性期病棟が多く、回復期や慢性期病棟が少ないことが問題になっています。

そして最も注目されていると言っても過言でないのが、我々が住んでいる呉市です。

当然と言えば当然で約50万人の旧呉市の患者さんを担えるだけの医療機関がそのまま残り、人口は実質半減していますが、それでも高齢人口は増えています。高齢者に対応できる回復期や慢性期の病棟が足りなくなり、癌や重症で積極的に治療しなければいけない生産人口は減っているのに、急性期は余り始まることとなります。

呉市を見てみますと急性期のみに対応している病院は呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院がありますし、急性期に回復期などを併せ持つのが済生会呉病院や医師会病院、その他いくつかの病院かと思えます。

これらの病棟を必要度に合わせるように整備するのが、地域医療構想です。

ここまで聞かれると、そのようにすれば良いじゃないかと思われるでしょうが…そんなに簡単な話ではありません。あなたの職場がこれからの日本で必要ないから国の指示で縮小や廃業を求められると「はい、そうです。」と言えるわけないと思います。

各病院は自分のところは急性期を残したいと思うわけですが、しかしながら実状は今後対象になる患者さんは減るわけですから、それぞれの病院で

急性期ベッドが空床となり、回復期や慢性期が満床となってきます。そうなれば当然に各病院は急性期から回復期、慢性期の病棟に転換し始めます。そうなればどんな病気でも診られる病院が無くなると思います。

今でも産婦人科や小児科、透析、眼科など体制が維持できない病院があります。今後さらに科によって対応できない科が増えてくるでしょう。

ではどうすれば良いかですが、何でも診られる（超）急性期を主とする病院を一つ残すことだと思います。そして整形や透析、泌尿器などなどに特化した急性期と回復期を診られる病院を2つにして、その他は回復期と慢性期の病院にすれば市民は安心して暮らせる街になると思います。

これには幾つかの大きなメリットがあります。それは急性期を主とする病院で働く職員と慢性期で働く職員がその病気に合わせた医療や介護、在宅との橋渡しなど専門的な対応が充実すること、人員体制が過不足なく効率的に整えられるということです。様々な病棟を持てば、様々な設備や対応を求められることで、人員が必要となります。これからは地域の人材を多職種で確保していけるような取り組みが必要です。

そして医療と介護が充実し、気候の良いこの呉市で余生を過ごしたいと思う方を全国にアピールし、地域の医療・介護施設を存続していける、医療特区のようなものを作るのも夢ではないと思います。最後にあります呉市だけで見れば、今後看護師が過剰となる可能性があります。そして間違いなく介護士が不足してきます。

こうしたことをちゃんと考えて政治家や医療関係者が取り組みをしていかなければいけないのだと思うし、地域の方々が認識を深めなければいけないのだと思います。

たつき新聞を楽しみにしてくれている皆さん、今回の内容は難しすぎましたかね？

院長の一言と名【迷】言

【日々努力】（日々努力していますか？）

努力も様々です。例えば私から見れば半分にも満たない努力も人によっては最高の努力かもしれません。当然に逆もあります。いざいかにしても実る努力をすることが大切です。間違った方向の努力では時にしない方が良い場合もあります。医療法人社団たつき会 菅田 宗樹

院内情報

熱中症対策を心掛けましょう

蝉の音の風情を感じる今日この頃。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回のテーマも「熱中症」。前回の続きの内容です。実際にどのようなことに気を付けなければいけないのでしょうか。

まずは初期症状を知ることです。体のだるさ、吐き気、のどの渇き、大量の汗またはまったく汗をかかない、顔のほてり、体温の上昇、筋肉のけいれん等があります。

対応としては、経口補水液等の補給（水分だけでなく、ミネラル分も不足してしまうため）体温を下げる（脇の下など大きい血管を冷やすのが効果的です）があります！

5/11(土) ★ギターと大正琴の演奏会！！

生演奏に合わせ、気持ちよく歌を歌うことができました。IKKバンドの皆さんには利用者さんのリズムに合わせてくださり、いつも有難うございます。大きな声を出し、ストレスを発散することでこれからも元気に過ごしましょう。



5/10(金) ★外食ツアー「藤田屋」

メニューを見てもなかなか決まらず、ワクワクしながら注文をしました。お料理が来ると、会話が弾み楽しい時間を過ごしました。



5/21(火) ★手作りおやつ

手作りおやつで「柏餅」を作りました。初めてのことで、スタッフもドキドキしながら楽しみました。上新粉を使いレンジでチン！「まあ、簡単に出来るんじゃないか」と驚いておられました。



デイサービスセンター つばき

情報

5/15(水) BBQ



気候がいいので、外でバーベキューをしてみました!!初めての試みでしたが、材料を切ったりおにぎりを作ったりする姿はいきいきとされており、下ごしらえから和気あいあいとした、いい雰囲気♪気持ちの良い風に吹かれながら、皆さん美味しそうに召し上がっておられました(^~)

5/10(金) お茶会

ボランティアの方によるお茶会がありました。目の前でお茶を点て頂いて、甘いお饅頭に美味しいお抹茶を美味しく頂きました。ステキな時間が過ごせました。



5/9(木) クッキング



開東風桜餅を作りました。テーマは「男のクッキング」と決め、男性?主体で行いました。周りからは「大丈夫?ちゃんと出来るん?」などの声もありましたが、作ってみるとバッチリ美味しく出来上がり、みんな作ってみたい。さ

(分量(6人分))
・白玉粉 20g ・水 100ml
・薄力粉 50g
・サラダ油 小さじ1
・あんこ 120g
・桜の葉 6枚

デイサービスセンター すみれ

5/24(金) 第2回!春の大運動会



つつじ春の大運動会を開催しました。代表者による選手宣誓から始まり、紅白に分かれて玉入れやパン食い競争などを行いました。日頃ゆっくりされている方も一生懸命体を動かしていました。職員も体を張って頑張りました!これから暑くなる日が続いていくので運動をしっかりして体調を整えていきましょう。

介護付き有料老人ホーム つつじ

5/19(日) ギターと大正琴の演奏会



IKKバンドさんに来て頂き、ギターと大正琴の演奏をして頂きました。お馴染みの歌謡曲や、懐かしい童謡に入居者の皆さんも楽しそうに唄われていました。最後に「ハッピーバースデー」を演奏して頂き、5月生まれの方のお誕生日をお祝いしました。

グループホーム あかね

ケアマネ通信

さつきの部屋

令和最初に行われた、「川尻・安浦地域包括ケアを樹立する会」(以下、樹立の会)のご報告をさせていただきます。

この度の樹立の会は、「住み慣れた地域で暮らしていくために ~地域ネットくれんどの事業と

まるごとネット安芸灘~」と題しまして、特定非営利活動法人 地域ネットくれんど 松藤 拓史氏をお迎えし、ご講義頂きました。

当初は昨年7月の開催予定でしたが、西日本豪雨災害の影響で延期となつてしまい、再度の講義依頼を快諾して頂きました。改めて感謝申し上げます。

くれんどさんの事業として、①地域協働センター(支えられる側ではなく、地域の担い手となって、地域の活性化に貢献する就労活動を行う)、②子ども・家庭支援センター(あなたはあなた、ありのままの自分で良いことを再認識させてくれる場所)、③地域生活支援センター(施設で生活するのではなく、自宅で実現したい暮らしをサポートする制度を実施)という、3つの特色のある事業があることが理解できました。

また「まるごとネット安芸灘」は、障害児者の重度化・高齢化、「親亡き後」を見据えて、早い段階で安定した居住支援が行える体制を目的に設立された。さらに緊急時には一時的に安全な居場所を確保し、元の生活に戻るための支援も行っている。また個々の課題は、地域の課題でもあるため、行政・医療・福祉を巻き込んで解決に向けた対策も講じていることが分かりました。

最後に5つの事例を提供してくれましたが、どのケースも大変な事例でした。100%満足いく支援は出来ないし、自宅での生活が難しく、意に反するが施設で過ごすとしても、良質な生活を送ることは出来ると思います。

松藤氏の温かな口調で、何人もの障害児者が救われてきたことは言うまでもないですね。貴重なご講演をありがとうございました。



居宅介護支援事業所 さつき
電話0823-36-6661(直通)
担当:中川、渡邊、竹内、西本、徳田

7月の行事予定	あかね		すみれ		つつじ	つばき		
	4日(木)	七夕会 & IKK バンド	6日(土)	七夕会	7日(日)	3日(水)	6日(土)	18日(木)
			18日(木)	大正琴		外食ツアー	七夕会	握り寿司の日
			未定	クッキング		10日(水)	外食ツアー	22日(月)
						23日(火)	歌を歌って元気になるましょう	手作りおやつ
								26日(金)
								ビンゴゲーム

医療法人社団 たつき会

菅田医院

〒737-2607 広島県呉市川尻町東一丁目21-1

TEL(0823)87-2529

FAX(0823)87-5993

緊急連絡先 090-8066-4999

医療法人社団 たつき会 菅田医院

デイサービスセンター つばき

〒737-2607 広島県呉市川尻町東一丁目21-10

TEL(0823)87-0108

FAX(0823)87-0160

医療法人社団 たつき会 菅田医院

ケアビレッジたつき

介護付き有料老人ホーム つつじ グループホーム あかね
デイサービスセンター すみれ 居宅介護支援事業所 さつき

〒737-2518 広島県呉市安浦町内海北六丁目3-20

TEL(0823)70-6678 FAX(0823)70-6077

医療法人社団たつき会 菅田医院

E-mail : info@tatukikai.jp

ホームページ▶http://tatukikai.jp

「たつき新聞」たつき事務